

少数台数のリコール届出の公表について (平成23年2月分)
-------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年2月は6件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月3日	2702	車名：いすゞ 型式：PKG-FRR90T2改 他 通称名：フォワード	72	平成19年8月27日～ 平成21年3月19日
不具合の部位等	道路清掃車において、排気管出口に取付けている雨水浸入防止バルブの固定方法が不適切なため、排気の圧力で当該バルブ固定金具が抜けてくることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該部品が落下するおそれがある。			

## 2. 届出者：日本トレクス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月3日	2703	車名：トレクス 型式：CTB32003 他 通称名：-	11	平成20年7月4日～ 平成22年8月6日
不具合の部位等	20フィート用3軸コンテナセミトレーラのメインレール間隔が拡大する部分において、メインレールとクロスメンバーとの接合部の強度が不足しているものがある。そのため、走行時のねじれ荷重等の繰り返しにより、メインレールに亀裂が発生するものがある。			

## 3. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
2月4日	外1730	車名：プジョー 型式：ABA-D2V 他 通称名：407 他	11	平成22年3月28日～ 平成22年5月24日
不具合の部位等	駐車ブレーキレバーのワイヤー自動巻き取り調整機構の製造工程において、不適切な固定加工を行ったため、当該部品が変形し、ワイヤー自動巻き取り調整機構が作動しなくなるものがある。そのため、繰り返しの駐車ブレーキレバー操作によりワイヤーの伸び代が過大になり、車両の駐車制動力が不足するおそれがある。			

## 4. 届出者：輸送機工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月15日	2710	車名：ユソーキ 他 型式：YFS2101A 他 通称名：-	72	平成6年9月11日～ 平成8年3月10日
不具合の部位等	セミトレーラに使用している車軸において、使用環境に対する強度の余裕が少ないため、長期の使用によりスピンドル部に亀裂が発生する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、車軸が折損するおそれがある。			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月17日	2711	車名：三菱 型式：BKG-FE71BSD 通称名：ふそうキャンター	3	平成22年7月23日～ 平成22年7月26日
不具合の部位等		制動倍力装置の製造時に、当該装置内部のダイヤフラムに傷がついたものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると傷が貫通し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。		

6. 届出者：コマツユーティリティ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月22日	2713	車名：小松 型式：SC-M217 他 通称名：－ 他	42	平成16年12月24日～ 平成22年11月3日
不具合の部位等		ブレーキペダルのリンクと制動灯スイッチの位置が不適切なため、スイッチが作動しないことがある。そのため、ブレーキペダルを離しても、制動灯が消灯しなくなるおそれがある。		

【参考】平成23年2月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	13件	8件	5件
輸入車	3件	2件	1件
計	16件	10件	6件